

円周率 π の無理数性

2024 年 3 月 19 日(火)

概要

円周率 π が無理数であることを証明します.

証明

文献[1] の Theorem 2 及び文献[2] の 260 ページを参考にする. 円周率 π が有理数 $\frac{p}{q}$ と仮定して矛盾を導く. ここで p, q はともに自然数である. まず各整数 $n \geq 0$ に対して,

$$I_n = \frac{q^n}{n!} \int_0^\pi x^n (\pi - x)^n \sin x \, dx \quad (1)$$

と定める.

(a) $I_0 = 2$ 及び $I_1 = 4q$ を証明する.

$$I_0 = \int_0^\pi \sin x \, dx = [-\cos x]_0^\pi = (-1)(-1 - 1) = 2 \quad (2)$$

$$I_1 = q \int_0^\pi x(\pi - x) \sin x \, dx \quad (3)$$

$$\begin{aligned} \frac{I_1}{q} &= \int_0^\pi x(\pi - x) \sin x \, dx \\ &= [x(\pi - x)(-\cos x)]_0^\pi - \int_0^\pi (-2x + \pi)(-\cos x) \, dx \quad \because \text{部分積分より} \\ &= \int_0^\pi (-2x + \pi) \cos x \, dx \\ &= [(-2x + \pi) \sin x]_0^\pi - \int_0^\pi (-2) \sin x \, dx \quad \because \text{部分積分より} \\ &= 2 \int_0^\pi \sin x \, dx \\ &= 2 \cdot 2 \quad \because \text{式(2)より} \\ &= 4 \end{aligned} \quad (4)$$

よって $I_1 = 4q$ となる.

(b) $n \geq 2$ のとき, 漸化式 $I_n = (4n - 2)qI_{n-1} - p^2I_{n-2}$ を証明する.
各整数 $n \geq 0$ に対して,

$$f_n(x) = \frac{q^n}{n!} x^n (\pi - x)^n \quad (5)$$

と定める. $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned}
I_n &= \int_0^\pi f_n(x) \sin x \, dx \\
&= [f_n(x)(-\cos x)]_0^\pi - \int_0^\pi f_n'(x)(-\cos x) \, dx \quad \because \text{部分積分より} \\
&= \int_0^\pi f_n'(x) \cos x \, dx \\
&= [f_n'(x) \sin x]_0^\pi - \int_0^\pi f_n''(x) \sin x \, dx \quad \because \text{部分積分より} \\
&= - \int_0^\pi f_n''(x) \sin x \, dx
\end{aligned} \tag{6}$$

ここで

$$\begin{aligned}
f_n'(x) &= \left(\frac{q^n}{n!} (x(\pi - x))^n \right)' \\
&= \frac{q^n}{n!} n (x(\pi - x))^{n-1} (-2x + \pi) \\
&= \frac{q^n}{(n-1)!} (x(\pi - x))^{n-1} (-2x + \pi)
\end{aligned} \tag{7}$$

さらに

$$f_n''(x) = \frac{q^n}{(n-1)!} \{ (n-1)(x(\pi - x))^{n-2} (-2x + \pi)^2 + (x(\pi - x))^{n-1} (-2) \} \tag{8}$$

ここで $(-2x + \pi)^2 = -4x(\pi - x) + \pi^2$ をこの式(8)に代入すると,

$$\begin{aligned}
f_n''(x) &= \frac{q^n}{(n-1)!} \{ -4(n-1)(x(\pi - x))^{n-1} + (n-1)\pi^2(x(\pi - x))^{n-2} - 2(x(\pi - x))^{n-1} \} \\
&= \frac{q^n}{(n-1)!} \{ (-4n+2)(x(\pi - x))^{n-1} + (n-1)\pi^2(x(\pi - x))^{n-2} \} \\
&= (-4n+2)q \frac{q^{n-1}}{(n-1)!} (x(\pi - x))^{n-1} + \pi^2 q^2 \frac{q^{n-2}}{(n-2)!} (x(\pi - x))^{n-2} \\
&= -(4n-2)q f_{n-1}(x) + (\pi q)^2 f_{n-2}(x) \quad \because f_n(x) \text{ の定義より} \\
&= -(4n-2)q f_{n-1}(x) + p^2 f_{n-2}(x) \quad \because \pi = \frac{p}{q} \text{ より}
\end{aligned} \tag{9}$$

この式(9)を式(6)に代入すると,

$$\begin{aligned}
I_n &= - \int_0^\pi \{ -(4n-2)q f_{n-1}(x) + p^2 f_{n-2}(x) \} \sin x \, dx \\
&= (4n-2)q \int_0^\pi f_{n-1}(x) \sin x \, dx - p^2 \int_0^\pi f_{n-2}(x) \sin x \, dx \\
&= (4n-2)q I_{n-1} - p^2 I_{n-2} \quad \because I_n \text{ の定義より}
\end{aligned} \tag{10}$$

が得られる.

(c) 各整数 $n \geq 0$ に対して I_n は整数であることを証明する.

(a)の結果より I_0, I_1 はともに整数であり, (b)の漸化式に数学的帰納法を適用すると I_n は整数となる.

(d) 十分大きな n に対して, I_n は0より大きく1より小さいことを証明する.

$0 \leq x \leq \pi$ のとき

$$0 \leq \sin x \leq 1 \text{ かつ } 0 \leq x(\pi - x) \leq \frac{\pi^2}{4} \quad (11)$$

なので

$$I_n < \frac{q^n}{n!} \int_0^\pi \left(\frac{\pi^2}{4} \right)^n \cdot 1 \, dx = \pi \frac{(q\pi^2/4)^n}{n!} \quad (12)$$

したがって, 各整数 $n \geq 0$ に対して

$$0 < I_n < \pi \frac{(q\pi^2/4)^n}{n!} \quad (13)$$

が成立する. いまここで $q\pi^2/4$ は n に依存しない定数なので

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{(q\pi^2/4)^n}{n!} = 0 \quad (14)$$

である. はさみうちの原理を式(13)に適用すると, 十分大きな n に対して I_n は0より大きく1より小さい.

(e) (c)と(d)の結果が矛盾するため, 円周率 π は無理数である. 証明終了.

参考文献

- [1] L. Zhou and L. Markov, “Recurrent proofs of the irrationality of certain trigonometric values,” The American Mathematical Monthly, vol. 117, no. 4, pp. 360–362, 2010.
- [2] S. Stewart, How to Integrate It: A Practical Guide to Finding Elementary Integrals. Cambridge University Press, 2017.